

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6865989号
(P6865989)

(45) 発行日 令和3年4月28日 (2021.4.28)

(24) 登録日 令和3年4月9日 (2021.4.9)

(51) Int.Cl. F I
E O 4 H 1/12 (2006.01) E O 4 H 1/12 3 O 2 Z

請求項の数 11 (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2020-203593 (P2020-203593)	(73) 特許権者	517277993
(22) 出願日	令和2年12月8日 (2020.12.8)		T r i m株式会社
基礎とした実用新案登録	実用新案登録第3215367号		神奈川県横浜市中区海岸通四丁目24番地
原出願日	平成29年12月25日 (2017.12.25)	(74) 代理人	230116816
(65) 公開番号	特開2021-38664 (P2021-38664A)		弁護士 成川 弘樹
(43) 公開日	令和3年3月11日 (2021.3.11)	(74) 代理人	100146123
審査請求日	令和2年12月8日 (2020.12.8)		弁理士 木本 大介
特許法第30条第2項適用	平成29年6月29日 h t t p : / / w w w . t r i m - i n c . c o m / b l o g / m a m a r o	(74) 代理人	100174850
特許法第30条第2項適用	平成29年9月20日 h t t p : / / w w w . t r i m - i n c . c o m / b l o g / 6 a f 2 6 c 9 9 3 1 1		弁理士 大崎 絵美
		(74) 代理人	100159248
			弁理士 齋藤 修
		(72) 発明者	長谷川 裕介
			神奈川県横浜市中区海岸通四丁目24番地 T r i m株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 授乳用ユニット

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部に空間が形成された箱状の筐体と、
前記筐体に形成された開口状の出入口と、
前記出入口に設けられ、閉状態のときに前記出入口を塞ぎ、前記筐体の内部の空間を遮蔽するドアと、

前記筐体の内部の空間に設けられ、授乳者が着座可能な1つの一人着座用の椅子と、
前記筐体を移動させるキャスターと、
を備え、

前記筐体は、正面、前記筐体を正面視したときに前記正面に対して左側に位置する左側面、および、前記筐体を正面視したときに前記正面に対して右側に位置する右側面を有し

10

、
前記出入口を、前記正面の右側に寄った位置、または、左側に寄った位置に形成し、
前記出入口を前記正面の右側に寄った位置に形成した場合は、前記椅子を、前記左側面の内側に背もたれを沿わせた状態で、前記筐体の内部の空間の左端部に設け、
前記出入口を前記筐体の正面の左側に寄った位置に形成した場合は、前記椅子を、前記右側面の内側に背もたれを沿わせた状態で、前記筐体の内部の空間の右端部に設けたことを特徴とする授乳用ユニット。

【請求項2】

前記筐体の内部の空間に人感センサーを設けたことを特徴とする請求項1に記載の授乳

20

用ユニット。

【請求項 3】

前記筐体の内部の空間の左端部に前記椅子を設けた場合は、表示パネルを、前記右側面の内側に設け、

前記筐体の内部の空間の右端部に前記椅子を設けた場合は、前記表示パネルを、前記左側面の内側に設けたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の授乳用ユニット。

【請求項 4】

前記椅子に着座する授乳者が向く方向を椅子前方とし、前記椅子前方に向かって右方向を椅子右方向とし、前記椅子前方に向かって左方向を椅子左方向とした場合に、

前記椅子の前記椅子右方向または前記椅子左方向に、前記筐体の面のうち、前記椅子の椅子右方向の面または前記椅子の前記椅子左方向の面に接するテーブルを設け、

前記テーブルの上面に、前記表示パネルの表示の操作を行うためのタッチ式操作パネルを設けたことを特徴とする請求項 3 に記載の授乳用ユニット。

【請求項 5】

前記テーブルの上面の先端が、前記椅子の座面の前記椅子前方の端を超えて延在する構成とし、

前記テーブルの上面の前記椅子前方側の端部に、前記タッチ式操作パネルを設けたことを特徴とする請求項 4 に記載の授乳用ユニット。

【請求項 6】

前記テーブルの上面の先端が、前記椅子の座面の前記椅子前方の端を超えて延在する構成とし、

前記テーブルの上面において、前記椅子の座面の前記椅子前方側の端に対応する位置に、前記タッチ式操作パネルを設けたことを特徴とする請求項 4 に記載の授乳用ユニット。

【請求項 7】

前記椅子に着座する授乳者が向く方向を椅子前方とし、前記椅子前方に向かって右方向を椅子右方向とし、前記椅子前方に向かって左方向を椅子左方向とした場合に、

前記椅子の前記椅子右方向または前記椅子左方向に、前記筐体の面のうち、前記椅子の椅子右方向の面または前記椅子の前記椅子左方向の面に接する第 1 テーブルを設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の授乳用ユニット。

【請求項 8】

前記椅子右方向に前記第 1 テーブルを設けた場合は、前記椅子の前記椅子前方の前記椅子左方向寄りに第 2 テーブルを設け、

前記椅子左方向に前記第 1 テーブルを設けた場合は、前記椅子の前記椅子前方の前記椅子右方向寄りに前記第 2 テーブルを設けたことを特徴とする請求項 7 に記載の授乳用ユニット。

【請求項 9】

前記第 2 テーブルを、前記椅子の前記椅子前方の前記椅子左方向寄りに設けた場合は、前記第 2 テーブルの前記椅子左方向側の端部が、前記筐体の前記椅子左方向側の面に接する構成とし、

前記第 2 テーブルを、前記椅子の前記椅子前方の前記椅子右方向寄りに設けた場合は、前記第 2 テーブルの前記椅子右方向側の端部が、前記筐体の前記椅子右方向側の面に接する構成としたことを特徴とする請求項 8 に記載の授乳用ユニット。

【請求項 10】

前記第 1 テーブルの上面と、前記第 2 テーブルの上面との上下方向における位置を同じとしたことを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の授乳用ユニット。

【請求項 11】

前記第 2 テーブルを、折り畳み式のテーブルによって構成すると共に、前記第 2 テーブルを折り畳んだときに、前記第 2 テーブルの天板が前記筐体の面の内側に沿って延在する構成としたことを特徴とする請求項 8 から 10 のいずれか 1 項に記載の授乳用ユニット。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、授乳者が授乳を行うための授乳用ユニットに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、ショッピングセンター等の店舗や、レストラン等の飲食店、イベント会場等の会場等の様々な施設に授乳エリアが設けられている。授乳エリアとは、授乳を行うことが可能なエリアであり、授乳者は、外出中に、授乳エリアを利用して、授乳を行うことができる。なお、授乳エリアは、部屋等の閉じられた1つの空間である必要は無く、フロアに設けられた一部の領域であってもよく、解放された空間の一部の領域であってもよい。例えば、授乳エリアは、専用の部屋や、授乳エリアとして区画された専用のエリアに、授乳者が授乳時に着座するための椅子や、授乳の準備に利用するための台が複数設けられることによって構成される。

10

【0003】

特許文献1には、当該専用の部屋に複数設けられる授乳用椅子が開示されている。特許文献1の授乳用椅子は、椅子に対してベビーベッドが移動可能に構成されており、椅子に着座する授乳者は、自身の位置に対するベビーベッドの相対的な位置を簡易に移動させることができる。特許文献1によれば、授乳者は、授乳のための準備や、授乳等、作業に応じてベビーベッドの位置を移動させることができ、各作業をスムーズに行うことができる。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】 実用新案第3201286号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

授乳エリアでは、授乳者のプライバシーの保護が問題となる。つまり、授乳に係る作業を他人に見られたくないと思う授乳者も少なからず存在し、このような授乳者の希望をできるだけ充足する必要がある。従来は、専用の部屋や、専用の領域に、ドアによって内部の空間が遮蔽される個室を設けたり、仕切板によって授乳のための空間を仕切った上で、カーテンその他の遮蔽物によって各空間を遮蔽可能に構成したりすることによって、授乳エリア内に、外部から遮蔽された授乳用空間を設け、これにより、授乳者のプライバシーを保護していた。

30

【0006】

しかしながら、個室や、仕切板を設けることによって、外部から遮蔽された授乳用空間を授乳エリアに設ける従来の構成の場合、専用の設備が必要となると共に、綿密な設計の下、各設備を適切な位置に固定的に設ける必要があり、授乳エリアの設置の困難性が高かった。また、従来の構成の場合、授乳用空間の増設や、授乳用空間の移動等のレイアウトの変更を行う場合、簡易にできず、その点で課題があった。

40

【0007】

本発明は、このような問題を解決するために成されたものであり、授乳者のプライバシーが保護された状態で授乳を行うことができる授乳用空間が形成された授乳エリアを簡易に設置できるようにすると共に、授乳用空間のレイアウトの変更を容易にできるようにすることを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記した課題を解決するために、本発明の授乳用ユニットは、内部に空間が形成された箱状の筐体と、筐体に形成された開口状の出入口と、出入口に設けられ、閉状態のときに出入口を塞ぎ、筐体の内部の空間を遮蔽するドアと、筐体の内部の空間に設けられ、授乳

50

者が着座可能な1つの一人着座用の椅子と、筐体を移動させるキャスターと、を備えている。

【発明の効果】

【0009】

上記のように構成した本発明によれば、筐体の内部の空間には、授乳者が着座可能な1つの一人着座用の椅子が設けられると共に、ドアを閉状態とすれば、筐体の内部の空間が遮蔽され、外部から筐体の内部が視認できない状態となるため、授乳者は、筐体の内部で、他人に見られることなく、プライバシーが保護された状態で授乳を行うことができる。そして、このような筐体を移動させるキャスターが授乳用ユニットに設けられているため、授乳エリアとなる空間に授乳用ユニットを持ち込み、キャスターを利用して授乳用ユニットを適切な位置に移動させるという作業を行うだけで、授乳用空間が形成された授乳エリアを設置することができる。このため、授乳エリアの設置に際し、綿密な設計の下、各設備を適切な位置に固定的に設ける必要が無く、授乳エリアの設置が簡易化する。さらに、キャスターを利用して授乳用ユニットを移動させるだけで、授乳エリアにおける授乳空間のレイアウトの変更を行うことができるため、授乳用空間のレイアウトの変更を容易に行うことができる。

10

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本発明の一実施形態に係る授乳用ユニットの斜視図である。

【図2】本発明の一実施形態に係る授乳用ユニットの正面図および右側面図である。

20

【図3】図2のA-A断面図である。

【図4】図2のB-B断面図である。

【図5】図2のC-C断面図である。

【図6】図2のD-D断面図である。

【図7】図2のE-E断面図である。

【図8】図6において、授乳者が椅子に座った様子を模式的に示す図である。

【図9】タッチ式操作パネルの位置の別例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0011】

以下、本発明の一実施形態を図面に基づいて説明する。図1は、本実施形態に係る授乳用ユニット1の斜視図である。図2は、授乳用ユニット1の正面図および右側面図である。図2において(A)は正面図を示し、(B)は右側面図を示している。図3は、図2(A)の正面図のA-A断面図である。図4は、図2(A)の正面図のB-B断面図である。図5は、図2(B)の右側面図のC-C断面図である。図6は、図2(B)の右側面図のD-D断面図である。図7は、図2(A)の正面図のE-E断面図である。図8は、参考のため、図6のD-D断面図において、授乳者が椅子2に座ったときの様子を示す図である。

30

【0012】

授乳用ユニット1は、授乳者が、授乳を必要とする被授乳者に授乳を行うための空間を提供するユニットである。後に詳述するように、授乳者は、授乳用ユニット1を用いて、プライバシーが保護された状態で、落ち着いて授乳を行うことができる。

40

【0013】

図1～7に示すように、授乳用ユニット1は、内部に授乳用空間3(図3～7)(特許請求の範囲の「空間」に相当)が形成された略直方体の箱状の筐体4(図1～7)を有する。筐体4は、天面6(図1～6)と、底面7(図1～図7)と、ドア8(図1、2、4、5、7)が設けられた正面9(図1～5、7)と、正面9の裏側に形成された背面10(図1～4、6、7)とを有する。以下、図1の矢印で示すように、筐体4の正面9に相対して筐体4を正面視したときに、右に向かう方向を右方向、左に向かう方向を左方向、正面9から背面10に向かう方向を奥方向、背面10から正面9に向かう方向を手前方向、底面7から天面6に向かう方向を上方向、天面6から底面7に向かう方向を下方向とい

50

う。図1～7に示すように、筐体4は、正面9に対して左方向側に位置する左側面11（図1～3、5～7）、および、正面9に対して右方向側に位置する右側面12（図1、2、4～7）を有している。

【0014】

図1、2、7に示すように、正面9の右半分の領域のほぼ全域には、正面視で長方形の出入口14が形成されている。出入口14は、筐体4の授乳用空間3に連通する開口であり、授乳者は、被授乳者と共に、出入口14を介して、授乳用空間3に進入することができる。筐体4には、出入口14のほかは、授乳用空間3に連通する開口は形成されていない。出入口14には、左右方向にスライドし、スライド可能な範囲の右方向の端に至ったときに閉状態となるスライド式のドア8（図1、2、4、5、7）が設けられている。ドア8は、閉状態のときに、出入口14を完全に塞ぎ、授乳用空間3を遮蔽する。これにより、ドア8が閉状態の場合、筐体4の外部から授乳用空間3を視認することはできない。

10

【0015】

図3に示すように、筐体4の奥行きL1は約90センチであり、授乳用空間3の奥行きL1'は約83センチである。また、図3に示すように、筐体4の高さL2は約200センチであり、授乳用空間3の高さL2'は約180センチである。図5に示すように、筐体の幅L3は約180センチであり、授乳用空間3の幅L3'は約157センチである。このように、筐体4の形状は、高さ、幅に比して、奥行きが小さい薄型の略直方体形状である。奥行きL1、L1'、高さL2、L2'、幅L3、L3'は、被授乳者を抱く授乳者が授乳用空間3内の移動や授乳に係る作業等をスムーズに行うことができるようにし、かつ、授乳用ユニット1をできるだけ小型化するという観点の下、定められている。

20

【0016】

図2に示すように、出入口14は、高さL4が約175センチであり、幅L5が約70センチである。このように、出入口14は、被授乳者を抱く授乳者にとって上下方向および左右方向共に十分に大きく、授乳者は、被授乳者を抱いた状態で、スムーズに出入口14を介して授乳用空間3に出入りできる。また、出入口14の下端の地面からの高さは約10センチである。このように、出入口14の下端の地面からの高さは、被授乳者を抱く授乳者にとって十分に低く、授乳者は、被授乳者を抱いた状態で、スムーズに出入口14を介して授乳用空間3に出入りできる。

【0017】

30

図3、5～7に示すように、授乳用空間3には、座面16と背もたれ17と椅子脚18とを有する椅子2が設けられている。椅子2は、授乳者が着座する一人着座用の椅子であり、筐体4内に1つ設けられている。椅子2は、背もたれ17が左側面11の内側に沿った状態で、授乳用空間3の左端部に設けられている。従って、図8に示すように、授乳者が椅子2に着座した場合、お腹が右側面12に対向し、背中が左側面11に対向した状態で、顔が右方向に向いた状態となる。以下の説明では、図7の矢印で示すように、椅子2を起点として方向を表す場合、椅子2に着座する授乳者が向く方向（本実施形態では、右方向）を椅子前方という。そして、椅子前方に向かって右に向かう方向を椅子右方向といい、椅子前方に向かって左に向かう方向を椅子左方向という。椅子2は、椅子左方向の端部が背面10の内側に接触した状態で、授乳用空間3に設けられている。

40

【0018】

以上の態様で授乳用空間3に椅子が設けられているため、以下の効果を奏する。すなわち、授乳用空間3を右半分の第1空間K1（図6、7）と、左半分の第2空間K2（図6、7）とに区分けしたとする。第1空間K1は、正面9の出入口14が形成された領域に対応する空間であり、第2空間K2は、正面9の出入口14が形成されていない領域に対応する空間である。そして、上記構成によれば、出入口14に対応する第1空間K1を、椅子2および椅子2に付随する部材（後述）が存在しない空間とすることができ、授乳者は、椅子2および椅子2に付随する部材に邪魔されることなくスムーズに出入口14を介して授乳用空間3に進入することができる。また、授乳者は、第1空間K1を利用して、椅子2に着座するための方向転換や、椅子2に座る前に行うべき授乳の準備（例えば、抱

50

っこ紐で被授乳者を抱っこしている場合に、抱っこ紐をほどく作業）等をスムーズに行うことができる。また、第1空間K1は、荷物を載置する場所としても利用できる。特に、第1空間K1は、椅子2等の部材がない空間であるため、比較的大きなサイズの荷物を第1空間K1に載置することが可能である。例えば、授乳者は、ベビーカーを利用する場合も多いが、第1空間K1にベビーカーを載置することが可能である。

【0019】

さらに、密閉された空間に椅子を設ける場合、椅子の座面の前方に、椅子に着座する人間の足を延在させるためのある程度の大きさの空間を確保する必要がある。そして、授乳用空間3の左端部に椅子2を設ける場合、背もたれ17を背面10の内側または正面9の内側に沿わせた状態で、椅子2を設けることも可能である。しかしながら、この場合、座面16の前方にある程度の大きさの空間を確保する必要があるため、筐体4の奥行きL1を大きくすることによって、授乳用空間3の奥行きL1'を大きくする必要がある。この場合、授乳用ユニット1が大型化してしまう。一方で、椅子2の背もたれ17が左側面11の内側に沿った状態で、授乳用空間3の左端部に椅子2を設けることにより、高さL2、幅L3が、奥行きL1と比して十分に大きいという筐体4の構造上の特徴を利用して、筐体4を大型化することなく、椅子2の座面16の前方に授乳者が足を伸ばすことができる十分な空間を確保できる。

【0020】

図4～7に示すように、右側面12の内側には、表示パネル20が設けられる。表示パネル20は、液晶表示パネルや、有機ELパネル等の薄型のディスプレイである。右側面12の内側への表示パネル20の取り付けについて詳述すると、図4～7に示すように、右側面12の左方向側には、右側面12に沿って延在する板状の仕切板21（図4～7）が設けられており、右側面12と仕切板21との間には、仕切板21で仕切られた狭い空間が形成されている。この仕切板21には、右側面12に向かって凹んだパネル収容部22（図5、6）が設けられており、表示パネル20は、このパネル収容部22に収容された状態で、固定されている。このような構成のため、仕切板21から表示パネル20が突出した状態とならず、表示パネル20が出入口14を介して授乳用空間3に進入する授乳者の邪魔となることなく、また、表示パネル20に授乳者、その他の物体が接触するのが防止される。

【0021】

上述したように、本実施形態では、授乳者が椅子2に着座した場合、お腹が右側面12に対向し、顔が右方向に向いた状態となる（図8参照）。従って、表示パネル20が右側面12の内側に設けられることにより、授乳者は、授乳中、椅子2に着座した状態で、表示パネル20の表示内容を確認することができる。特に、本実施形態では、表示パネル20の中央部の上下方向における位置は、椅子2に着座する授乳者の目の位置として想定される位置と同じか、少し低い位置とされる。このため、授乳者は、授乳中、自然な体勢でリラックスしながら表示パネル20を視認することができる。さらに、授乳用空間3において、左端部に椅子2が設けられ、右端部に表示パネル20が設けられる構成のため、椅子2に着座する授乳者の目の位置と、表示パネル20との離間距離を十分に確保することができ、表示パネル20を視認する授乳者の目の負担を軽減できる。

【0022】

図3、5、7に示すように、椅子2の椅子右方向には、第1テーブル24が設けられる。第1テーブル24は、底面7に立設された略直方体のテーブルであり、平らな第1上面25を有する。第1テーブル24の第1上面25は、椅子2の座面16よりも30センチ程度高い位置で、正面9の内側に沿って左右方向に延在している。第1上面25の上下方向の位置は、椅子2に着座する授乳者の肘の位置を少し超える程度の位置とされている。図7に示すように、第1上面25は、左側面11を基端として、その先端25aが、椅子2の座面16の椅子前方の先端16aを椅子前方側に超えて延在している。このような構成のため、授乳者は、第1テーブル24の第1上面25に荷物や、授乳に必要な道具を載置することができ、さらに、椅子2に座った状態で、第1上面25に載置した物を触るこ

とができる。このため、授乳者は、椅子2に座った状態で、第1テーブル24の第1上面25を利用して、哺乳瓶へのミルクの補充や、授乳後の後片付け等、道具を用いた授乳に係る作業を行うことができる。また、図3、7に示すように、第1テーブル24は、その椅子右方向の端部が、正面9に接した状態で、授乳用空間3に設けられている。このような構成のため、椅子2が、その背もたれ17が左側面11に沿った状態、かつ、その椅子左方向側の端部が、背面10の内側に接触した状態で授乳用空間3の左端部に設けられているという構造的特徴を利用して、筐体4の奥行き方向の大きさが大型化を抑制しつつ、椅子2の椅子右方向に、第1テーブル24を設けることができる。

【0023】

また、図7に示すように、第1テーブル24の第1上面25には、タッチ式操作パネル27が設けられる。タッチ式操作パネル27は、表示パネル20の表示の操作を行うためのパネルであり、タッチ式操作パネル27に対するタッチ操作によって各種入力指示を行うことができる。図7に示すように、第1上面25は、左側面11を基端として、その先端25aが、椅子2の座面16の椅子前方の先端16aを椅子前方側に超えて延在している。その上で、図7に示すように、タッチ式操作パネル27は、第1テーブル24の第1上面25の椅子前方側の端部に近い位置に設けられている。このような構成のため、第1上面25において、タッチ式操作パネル27が設けられていない連続する領域を広く確保することができ、第1上面25に道具を載置したり、載置された道具を扱う授乳者にとって利便性が良い。なお、図9に示すように、タッチ式操作パネル27を、第1テーブル24の第1上面25の椅子前方側の端部に設ける構成でもよい。この構成によれば、第1上面25において、タッチ式操作パネル27が設けられていない連続する領域をより広く確保することができ、ユーザの利便性を向上できる。

【0024】

特に、本実施形態では、図7に示すように、タッチ式操作パネル27は、第1上面25において、椅子2の座面16の椅子前方側の先端16aに対応する位置に設けられている。このような構成のため、椅子2に着座する授乳者は、自身の右肘を第1上面25に載せた状態で、自身の右の手の平をタッチ式操作パネル27の位置に位置させやすい。このため、授乳者は、椅子2に座ったまま、自然な体勢で、タッチ式操作パネル27をタッチ操作することができる。特に、授乳のため、被授乳者を膝に載せた状態で椅子2に着座する場合、授乳者は、ほとんど姿勢を変えることができないが、上記構成によれば、授乳者は、被授乳者を膝に載せた状態で、ほとんど姿勢を変えることなく、タッチ式操作パネル27を操作可能である。

【0025】

図3、6、7に示すように、椅子2の椅子前方の椅子左方向寄りには、第2テーブル29が設けられている。より詳細には、第2テーブル29は、その基端部が、背面10の内側に取り付けられ、基端部から、手前方向に向かって、30センチほど水平に延在する天板30を有しており、天板30の上面には、第2上面31が形成されている。図6、7に示すように、第2テーブル29の第2上面31の椅子前方と逆側の端部31aの左右方向における位置は、椅子2の座面16の椅子前方の先端16aの左右方向における位置とほぼ同じである。また、図3に示すように、第2テーブル29の第2上面31の上下方向の位置は、第1テーブル24の第1上面25の上下方向の位置とほぼ同じである。

【0026】

第2テーブル29は、折り畳み式のテーブルであり、天板30が水平に延在し第2テーブル29を使用可能な状態（以下、「使用状態」という）（図3、6、7参照）と、天板30が背面10の内側に沿って延在し第2テーブル29を使用できない状態（以下、「収納状態」という）とのいずれかの状態とすることができる。すなわち、第2テーブル29は、天板30が水平に延在するように、天板30を支持する支持部材32を有する。支持部材32は、授乳者の操作によって、天板30を支持した状態と、支持が解除された状態とに変移させることができる。第2テーブル29は、使用状態のときに、その椅子左方向側の端部が背面10の内側に接した状態となる。これにより、背面10が壁となり、第2

10

20

30

40

50

テーブル 2 9 に載置した物の脱落が抑制されると共に、第 2 テーブル 2 9 に載置したものを背面 1 0 に寄りかからせることができる。

【0027】

第 2 テーブル 2 9 に関し、以上の構成のため、以下の効果を奏する。すなわち、授乳者が椅子 2 に着座したときに、使用状態の第 2 テーブル 2 9 の第 2 上面 3 1 は、授乳者の上肢の椅子前方であって、授乳者の膝の上方に位置した状態となる（図 8 参照）。このため、授乳者は、椅子 2 に着座している状態で、姿勢をほとんど変えることなく、左手を伸ばすだけで、第 2 テーブル 2 9 に載置した物を触ることができる。従って、授乳者は、被授乳者を膝に載せており、姿勢をほとんど変えることができない状態であっても、スムーズに第 2 テーブル 2 9 に載置した物（例えば、被授乳者の口元等を拭くためのガーゼや、授乳に必要な部品等）を利用することができる。さらに、第 2 テーブル 2 9 は、折り畳み式のテーブルであり、使用状態と、収納状態とのいずれかの状態とすることができる。このため、椅子 2 に着座していない間は、第 2 テーブル 2 9 を収容状態とし、椅子 2 への着座、椅子 2 からの離席をスムーズに行えるようにし、椅子 2 に座っている間に、第 2 テーブル 2 9 を活用することができる。

10

【0028】

さらに、授乳用空間 3 の奥行き L 1 ' が約 8 3 センチであるのに対して、使用状態の第 2 テーブル 2 9 の奥行き方向の長さは約 3 0 センチである。従って、図 7 に示すように、使用状態の第 2 テーブル 2 9 と、第 1 テーブル 2 4 との間には、奥行き方向に間隙が形成される。このような間隙が形成される構成のため、授乳者は、この間隙に、被授乳者を抱く腕の肘を張り出すことができリラックスした状態で授乳を行うことができる。また、このような間隙がない場合と比較して、授乳者への圧迫感を緩和できる。

20

【0029】

さらに、本実施形態では、椅子 2 に着座する授乳者にとって、椅子右方向に第 1 テーブル 2 4 が存在し、椅子前方の椅子右方向寄りに第 2 テーブル 2 9 が存在する状態となる。ここで、通常、授乳は、授乳者が、自身の右腕もしくは左腕で被授乳者の頭を抱え、被授乳者の頭の位置を固定した状態で行われる。授乳者が右腕で被授乳者の頭を抱える場合、基本的には右腕は他の用途に使うことができないが、左腕は、自由に使える場合がある。すなわち、哺乳瓶を用いて授乳をしているとき、または、母乳を用いて授乳をしているときに、授乳を一旦中断した場合、左腕により他の作業を行うことができる。このことは、授乳者が左腕で被授乳者の頭を抱える場合も同様である。そして、本実施形態によれば、上記構成のため、授乳者は、右腕で被授乳者の頭を抱えているときは、左腕を利用して第 2 テーブル 2 9 に載置した道具を使用することができ、逆に、左腕で被授乳者の頭を抱えているときは、右腕を利用して第 1 テーブル 2 4 に載置した道具を使用することができる。つまり、本実施形態によれば、授乳者は、被授乳者の頭を左腕で抱える場合も、右腕で抱える場合も、ほとんど姿勢を変えずに、第 1 テーブル 2 4 を第 2 テーブル 2 9 利用してスムーズに道具を使用することができる。また、上述したように、第 1 テーブル 2 4 の第 1 上面 2 5 の高さ、第 2 テーブル 2 9 の第 2 上面 3 1 の高さは、ほぼ同一である。従って、授乳者は、第 1 上面 2 5 に載置した道具の第 2 上面 3 1 への移動、および、第 2 上面 3 1 に載置した道具の第 1 上面 2 5 への移動をスムーズに行うことができる。

30

40

【0030】

図 3、6、7 に示すように、背面 1 0 の内側であって、椅子 2 の上方には、LED の照明 3 4 が設けられている。照明 3 4 は、熱安定性を有するシリコン素材のケースによって覆われており、授乳者または被授乳者が接触した場合であっても安全である。

【0031】

図 4、6 に示すように、仕切板 2 1 の上部の天面 6 に近い位置には、人感センサー 3 5 が設けられている。本実施形態に係る人感センサー 3 5 は、赤外線センサーであり、授乳用ユニット 1 が使用されている間、定期的に、検出結果をサーバ（不図示）に送信する。本実施形態では、検出結果は、画素ごとに温度に関する情報を有する画像データであり、解像度が非常に低い画像データである。画像データは、授乳用ユニット 1 の不正使用の検

50

出、および、授乳者または被授乳者の異常の検出を目的として利用される。画像データは、画素が保持する情報が温度に関する情報であり、また、解像度が非常に低いため、授乳者のプライバシーは完全に保護される。

【0032】

図1～6に示すように、筐体4の底面7の外側には、キャスター36と、固定部材37とが設けられている。キャスター36は、筐体4の底面に、長方形の頂点を成すように、4つ設けられている。このように筐体4の底面7にキャスター36が設けられているため、キャスター36を利用して、地面上で授乳用ユニット1を簡易に移動させることができる。また、固定部材37は、授乳用ユニット1の位置を固定する部材であり、所定の操作を行って、固定部材37を所定の状態とすることにより、固定部材37の接触部が地面に接触し、その摩擦力によって、授乳用ユニット1の移動が制限され、授乳用ユニット1の位置が固定される。

10

【0033】

このように、本実施形態に係る授乳用ユニット1は、キャスター36を利用して地面上を移動させることができると共に、固定部材37により任意の位置に固定することができる。この構成のため、以下の効果を奏する。すなわち、従来、授乳者が授乳を行うための授乳用空間が設けられた授乳エリアを設置する場合、専用の部屋に複数の個室を設けたり、仕切板によって授乳用空間を設けていた。この場合、専用の設備が必要となると共に、綿密な設計の下、各設備を適切な位置に固定的に設ける必要があり、授乳室の設置の困難性が高かった。一方で、本実施形態によれば、所定の空間に、授乳用ユニット1を持ち込み、キャスター36を利用して、適切な位置に授乳用ユニット1を移動させて、固定部材37で位置を固定するという簡単な作業を行うのみで、授乳者がプライバシーが完全に保護された状態で授乳を行うことが可能な授乳用空間3を設けることができる。このため、授乳エリアの設置が非常に容易である。

20

【0034】

さらに、本実施形態によれば、授乳用ユニット1は、キャスター36を利用して地面上を移動させることができるため、授乳エリアのレイアウトの変更も容易である。授乳エリアのレイアウトの変更は、授乳エリアとなる空間における授乳用ユニット1の配置の態様の変更のみならず、授乳エリアの増設や、授乳エリアの場所の変更も含む。例えば、大型施設において、入口G1の付近に、授乳エリアを設けたていたところ、入口G2の付近にも授乳エリアを設置することとなった場合、入口G1付近の授乳エリアから、所定台数の授乳用ユニット1を入口G2の近辺の所定の空間に移動させる、という簡易な作業により、授乳エリアを増設できる。さらに、本実施形態によれば、イベント会場等の、一時的に開設される施設にも非常に容易に授乳エリアを設置することができ、また、施設の閉鎖時には、キャスター36を利用して授乳用ユニット1を移動して撤去するという簡易な作業を行うだけで、授乳エリアを閉鎖することができる。

30

【0035】

授乳用ユニット1は、例えば、以下の態様で提供され、使用される。すなわち、授乳用ユニット1は、所定の会社（以下、「提供者」という）によって、レンタルまたは販売により提供される。授乳用ユニット1を使用することを望む者は、所定の手段で提供者に、授乳用ユニット1の提供を申し込む。以下、授乳用ユニット1の提供の申し込みをした者を、「需要者」という。需要者は、個人、組織を問わない。また、以下では、需要者が組織の場合に、その組織に属する個人についても単に「需要者」と表現する。提供者は、需要者からの申し込みに応じて、所定の手段で、提供者から指定された台数の授乳用ユニット1を、提供者から指定された場所に搬入する。搬入は、完成された授乳用ユニット1を運ぶことによって行われてもよく、授乳用ユニット1を構成する部品を搬入し、現地において授乳用ユニット1を組み立てることによって行われてもよい。需要者は、授乳室を設置する空間のサイズ、形状等を踏まえ、授乳用ユニット1のそれぞれをキャスター37を利用して所望の位置に配置する。その際、電力供給のための配線は適切に行われる。以上により、授乳室の設置が完了する。

40

50

【0036】

需要者は、所定の手段で、表示パネル20に、任意の映像を表示させることができる。一例として、所定のサーバに需要者が用意した動画ファイルが記憶された上で、ストリーミング再生により、表示パネル20に映像が表示される。例えば、需要者は、授乳用ユニット1が設けられた施設に関する情報（施設の構造の案内や、施設で行われているキャンペーン、サービスの案内等）を表示パネル20に表示させることができる。表示パネル20に当該施設に関する情報が表示されるようにすることにより、授乳者は、授乳中、リラックスした状態で有益な情報を得ることができる。なお、動画の再生方式は、ストリーミング再生に限らず、どのような方式であってもよい。例えば、ストリーミング再生に使用される動画ファイルが適宜アップデートされる構成でもよく、また例えば、表示パネル20の制御装置に動画ファイルが記憶され、制御装置が動画ファイルを再生する構成でもよい。また、表示パネル20にDVD等のメディアを再生する装置が接続され、メディアが再生される方式であってもよい。

10

【0037】

また、人感センサー35の検出結果に基づいて、不正使用、または、授乳者または被授乳者の異常が検出された場合、そのことが需要者に通知される。一例として、所定のサーバが、人感センサー35の検出結果を随時分析し、不正使用、または、授乳者または被授乳者の異常を検出した場合、需要者が管理するモニターへの表示、メール、警報、その他手段によって、需要者に通知する。このような構成のため、需要者は、不正使用、または、授乳者または被授乳者の異常が発生した場合、そのことを迅速に認識できると共に、当該認識に基づいて適切な対応をとることができる。

20

【0038】

以上、本発明の一実施形態を説明したが、上記実施形態は、本発明を実施するにあたっての具体化の一例を示したものに過ぎず、これによって本発明の技術的範囲が限定的に解釈されてはならないものである。すなわち、本発明はその要旨、またはその主要な特徴から逸脱することなく、様々な形で実施することができる。

【0039】

例えば、上述した実施形態では、出入口14は、正面9の右側に寄った位置、具体的には、正面9の右半分の領域のほぼ全域に設けていた。この点に関し、出入口14を正面の左側に寄った位置に設ける構成でもよい。正面の左側に寄った位置とは、例えば、正面9の左半分の領域のほぼ全域である。この場合、椅子2を、右側面12の内側に背もたれを沿わせた状態で、筐体4の授乳用空間3の右端部に設け、また、表示パネル20を左側面11の内側に設けることにより、上述した実施形態と同様の効果を奏することができる。

30

【0040】

また、上述した実施形態では、第1テーブル24は、椅子2の椅子右方向に設けられていたが、第1テーブル24を椅子2の椅子左方向に設ける構成でもよい。この場合、第2テーブル29を椅子2の椅子前方の椅子右方向寄りに設けることにより、上述した第1実施形態と同様の効果を奏することができる。また、上述した実施形態では、第1テーブル24の第1上面25の先端25aが、椅子2の座面16の椅子前方の先端16aを超えて延在する構成であったが、先端25aが先端16aを超えず、左右方向において同等の位置か、または、先端25aの方が少し左方向側に位置する構成でもよい。

40

【0041】

また、上述した実施形態では、タッチ式操作パネル27は、第1上面25において、椅子2の座面16の椅子前方側の先端16aに対応する位置に設けられていたが、タッチ式操作パネル27の位置はこの位置に限られない。また、上述した実施形態では、適宜、部材の寸法を具体的な値により示したが、実施形態で示した寸法はあくまで一例であり、例示した値と異なる値であってもよいことは勿論である。また、上述した実施形態では、ドア8はスライド式のドアであったが、これを開き戸としてもよい。また、ドア8に授乳用空間側からカギをかけられるようにしてもよい。また、第2テーブル29が設けられない構成でもよい。また、第2テーブル29は折り畳み式のテーブルでなくてもよい。また、第

50

２テーブル２９は、第１テーブル２４とは別に、正面９の内側（椅子２から見て、椅子右方向）に設けられる構成でもよい。すなわち、第２テーブル２９が設けられる位置は、本実施形態で例示した位置に限らず、また、第２テーブル２９は、必ずしも折り畳み式のテーブルでなくてもよい。

【符号の説明】

【００４２】

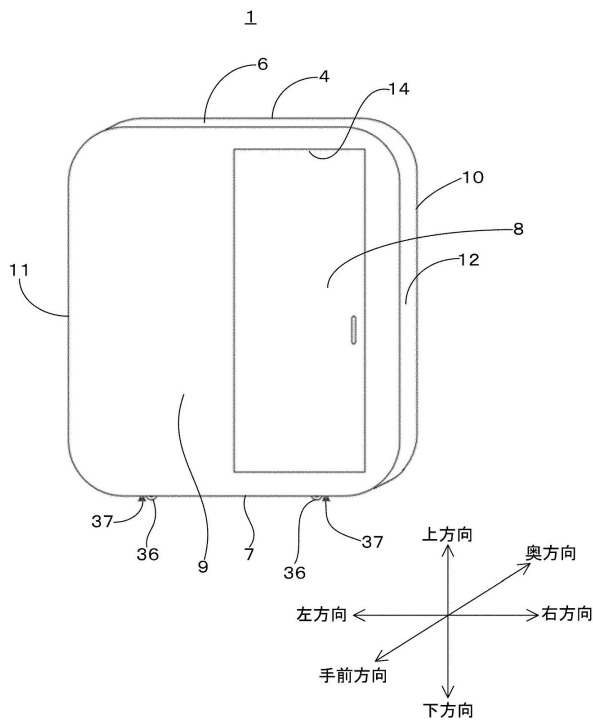
- １ 授乳用ユニット
- ２ 椅子
- ３ 授乳用空間（空間）
- ４ 筐体
- ８ ドア
- ９ 正面
- １１ 左側面
- １２ 右側面
- １４ 出入口
- ２０ 表示パネル
- ２４ 第１テーブル
- ２７ タッチ式操作パネル
- ２９ 第２テーブル
- ３０ 天板
- ３６ キャスター

10

20

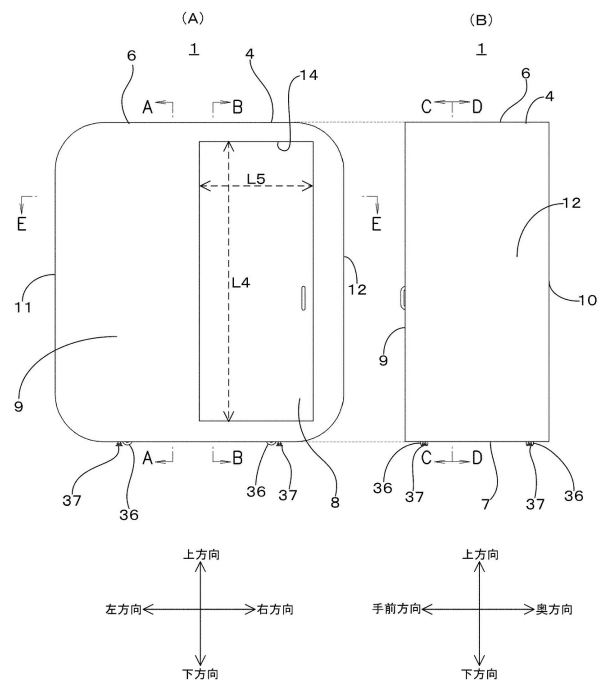
【図１】

本発明の一実施形態に係る授乳用ユニットの斜視図

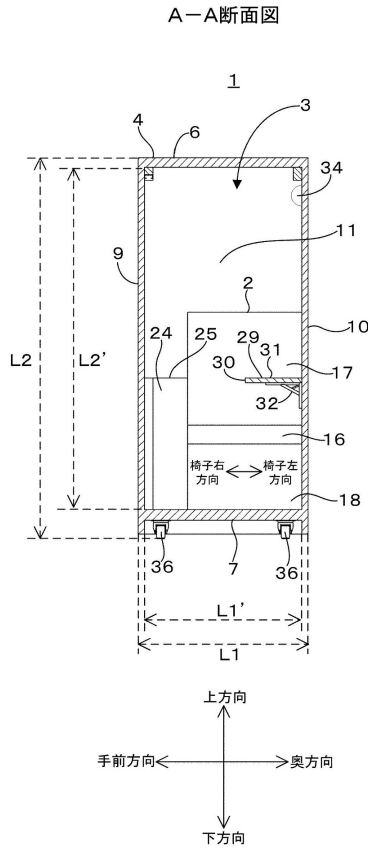


【図２】

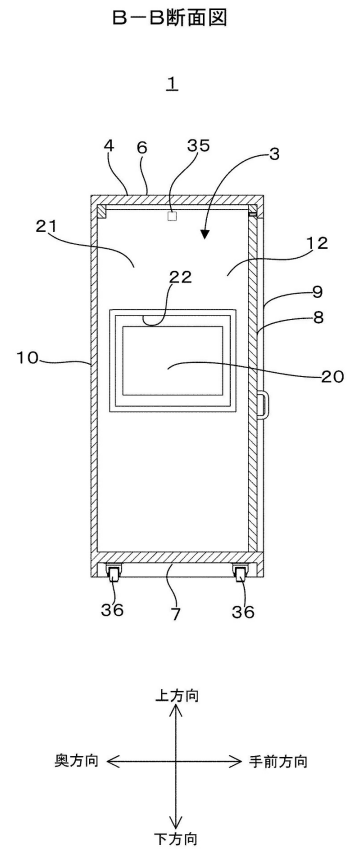
本発明の一実施形態に係る授乳用ユニットの正面図および右側面図



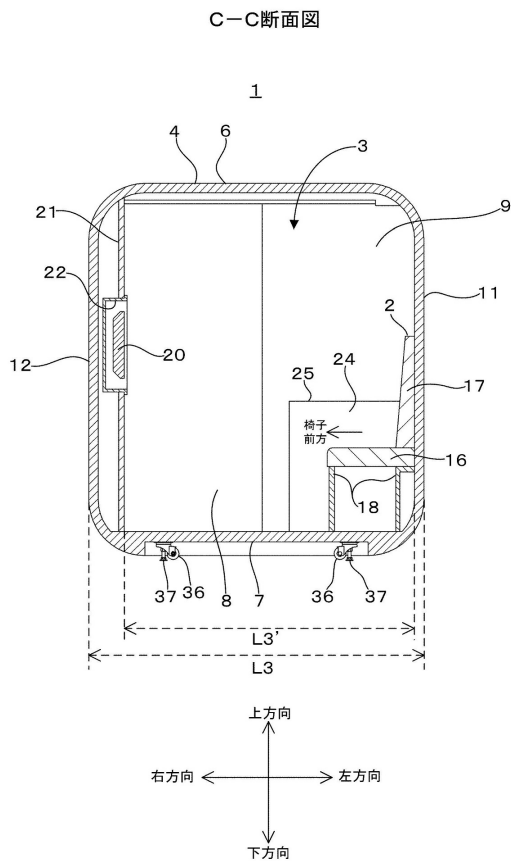
【図 3】



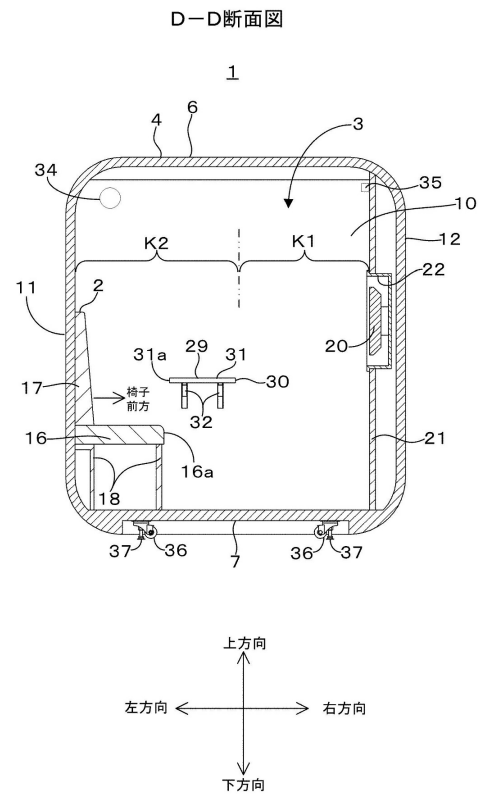
【図 4】



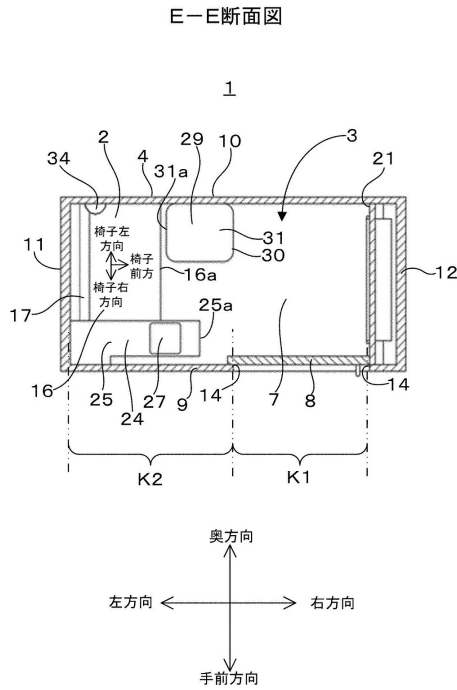
【図 5】



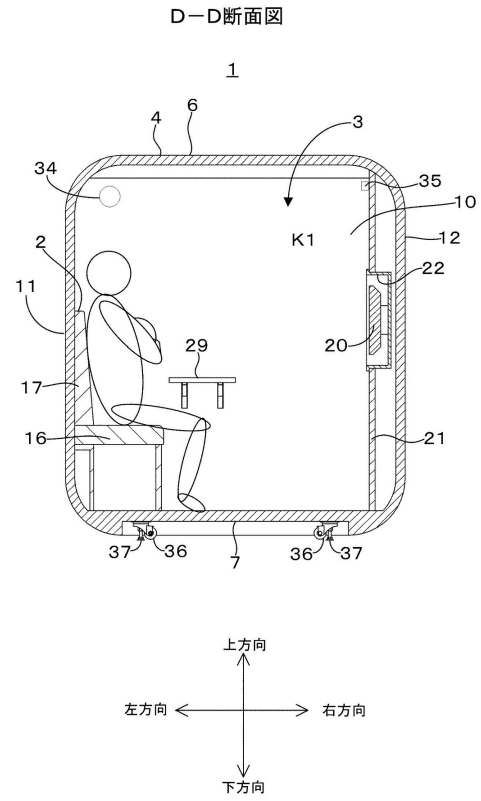
【図 6】



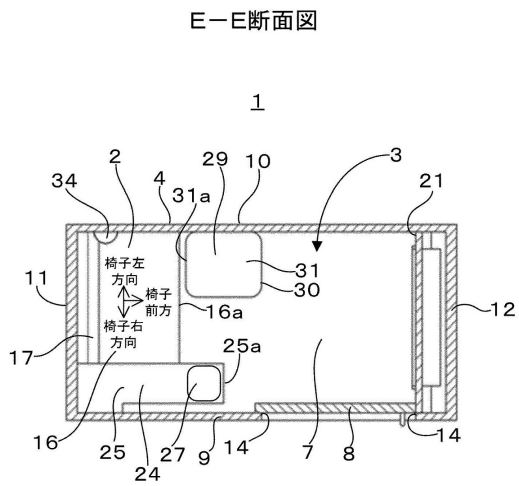
【図 7】



【図 8】



【図 9】



フロントページの続き

特許法第30条第2項適用 平成29年10月13日 <http://www.trim-inc.com/blog/mamaroe10b075f-db7d-4566-bf16-56645e00c5cc>

特許法第30条第2項適用 平成29年10月13日 高崎オーパにて展示

特許法第30条第2項適用 平成29年6月29日 http://www.keikyu.co.jp/company/news/2017/20170629HP_17060TK.html

特許法第30条第2項適用 平成29年9月8日 東京新聞夕刊第1面 中日新聞東京本社

特許法第30条第2項適用 平成29年11月4日 <https://newswitch.jp/p/10890>

早期審査対象出願

審査官 新井 夕起子

(56)参考文献 特開平07-293009 (JP, A)

特開平09-310515 (JP, A)

登録実用新案第3105957 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

E04H 1/12

A47C 7/62